

日本鳩レース協会と意見交換が行われました



後列右より：八田伸日本鳩レース協会会長、山本常吉同専務理事
前列右より：小室範齊日本伝書鳩協会会長、村川栄嗣同副会長

去る6月24日、日本鳩レース協会において日本の鳩レース界の現状と今後について意見交換が行われた。現在、各地で厳しいレース運営に直面しており両協会会員同士で協力しあい負担軽減に努力していることから今後は両協会執行部においても、その活動を後押ししていくことについて認識を共有した。また迷い鳩輸送に関しても両協会の問題であり輸送方法についての手段の拡充を働きかけていくことで一致した。さらに『動物の愛護及び管理に関する法律』改正施行に係る問題について説明を受け、日本鳩レース協会が行っている環境省への働きかけについて、当協会も協力を行うことを快諾した。鳩レースを行う上で、環境問題や会員の減少について問題が山積しており、如何にして今後も両協会の会員が継続してレースを行えるか、両協会執行部も協力を惜しまないことを約束し意見交換を終了した。